

平成 28 年度水戸市協働事業  
の選定に係る審査について

答 申

平成 28 年 3 月 17 日

水戸市協働推進委員会

## 目 次

### 平成 28 年度水戸市協働事業の選定に係る審査

審査結果及び全体講評 . . . . .	1
各事業の概要及び委員会意見 . . . . .	2
選考過程・基準 . . . . .	10
委員名簿 . . . . .	11

# 平成 28 年度水戸市協働事業の選定に係る審査

## 審査結果及び全体講評

### 【 審査結果 】

本委員会における審査の結果は、次のとおりである。

#### 推薦する事業

- 「外遊び」の力を次世代へ ～子どもの力を地域の力に～
- 外国人が買い物し易い商店街づくり
- セカンドライフを考える ～幸せシニアライフ講座～
- 渡里湧水群の保全と活用
- 谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業
- スマイルアースプロジェクト ～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～

#### 推薦しない事業

- 21 世紀の「生きる力」 ICT活用向上プロジェクト
- 水戸オーガニ蕎麦プロジェクト ～蕎麦作りの全行程を都市の人々と地域住民で楽しむ～

### 【 全体講評 】

平成 28 年度水戸市協働事業に対しては、8 件の協働事業が提案され、2 月 24 日に公開プレゼンテーションが実施された。今回は、環境や福祉、まちづくりや国際交流など、幅広い分野からの提案があった。外国人市民の団体からも提案があり、様々な主体が、公益的な活動に取り組み、社会全体で協働によるまちづくりを進めていこうという、意識の広がりを感じることができた。また、以前に提案したが、実施には至らなかった事業について、委員会からの意見を踏まえ、改善点を盛り込んだ上で再提案されている事業もあり、まちづくりに対する意欲的な姿勢が見られた。

提案のあった事業のうち、「渡里湧水群の保全と活用」「外遊び」の力を次世代へ ～子どもの力を地域の力に～」「セカンドライフを考える ～幸せシニアライフ講座～」「外国人が買い物し易い商店街づくり」は、平成 28 年度で 2 年目の実施となるが、いずれの事業についても、それ以降の長期的な展望を持って、市の担当課とともに、事業継続に向けた更なる内容の向上に取り組んでいただきたい。また、3 年目以降の予算化についても、事業効果や市民ニーズを把握しながら検討していただきたい。

事業の実施に当たっては、提案団体と市の担当課において十分協議し、補助金の適正な運用及び予算の適切な執行を心掛け、より効率的で透明性のある事業運営に繋げていただきたい。同時に、市民ニーズの把握に努め、適切に事業に反映させるなど、市民の目線に立った事業運営を進めてほしい。

今後も、様々な分野において、市民活動団体と市が、お互いの特性を生かしながらパートナーとして事業に取り組むことで、相乗効果が生まれ、市民と行政との協働によるまちづくりが更に発展していくことを期待したい。

## 各事業の概要及び委員会意見

提案事業名	「外遊び」の力を次世代へ ～子どもの力を地域の力に～	推薦する (224点)
提案団体 Play_Park310	市の担当課 生涯学習課，公園緑地課	
事業の概要	<p>少子化・核家族化が進み，かつてのように子どもが屋外で群れて遊べる機会が少なくなっている。そこで，未来を担う子ども達それぞれのその子らしい，より健全な発達を見守り，地域の絆を深めていくため，身体的・心理的・社会的発達を保障し，より安全で，誰でも来ることができる子どもの冒険遊び場づくりをサポートし，「子ども」を中心とした地域の多世代交流を促進させ，幅広い世代の居場所づくりを進める。</p> <p>1. 冒険遊び場の開催（水戸市内で3回実施） 2. 安全講習の開催（危険予知能力やケガの対応などの基本的知識の習得）</p>	
委員会意見	<p>本事業は，子どもの外遊びを推進し，子どもを中心とした多世代交流を目指す事業であり，子ども達の健全な発達を促す貴重な体験ができている。子どもや親からの評判も良く，プレイパークが気軽に参加できる，とても居心地の良い場所となっていると感じた。</p> <p>今後は，児童心理に関わる機関や団体との連携も視野に入れ，参加する子ども達が抱える悩みなどのケアにも期待したい。</p> <p>平成28年度は，双葉台以外の公園でも実施を考えているということで，活動の市全体への広がりや，長期的な事業継続に向けて，関係団体とのネットワークの構築や幅広い人材の確保も考えていただきたい。</p>	

提案事業名	外国人が買い物しやすい商店街づくり	推薦する (215点)
提案団体	グローバルフェスタいばらき実行委員会	市の担当課 商工課
事業の概要	<p>グローバルフェスタの開催やフェアトレード商品の普及を通し、その経験や人脈を生かし、外国人が買い物しやすい商店街づくりを進め、外国人と共生できるまちづくりにより、中心市街地活性化を実現する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イベントの開催，出店</li> <li>2. フェアトレード商品取り扱いや外国の商品取り扱い店舗，外国料理店に関するアンケート調査</li> <li>3. フェアトレード商品取り扱い店舗の拡大，PRパンフレット作成</li> <li>4. フェアトレード商品・海外の特産品及び外国料理店など外国人が買い物しやすいマップの作成</li> <li>5. お店で使える多言語集の作成，店舗への配布</li> <li>6. 世界の子ども広場や楽しいコミュニケーション広場の検討及び開設準備</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、外国人が買い物しやすい商店街づくりを進め、中心市街地の活性化につなげることを目的としており、フェアトレード商品の普及を、外国人が買い物しやすい商店街づくりにおいてどのように位置づけるかを整理していくことで、市担当課と協働する意義を明確にする必要がある。</p> <p>アンケートの結果から、商店街に買いたい商品がないという意見が多くあったので、外国人にとって魅力的な商品を把握し、それを商店街に置き、効果的に表示して市民にPRし、魅力的な商店街づくりを進めていただきたい。</p> <p>また、事業の企画運営には多くの団体が関わっており、これからもそのネットワークを生かし、連携・協力しながら事業を進めていただきたい。</p>	

提案事業名	セカンドライフを考える ～幸せシニアライフ講座～	推薦する (216点)
提案団体 株式会社 I F P	市の担当課 高齢福祉課	
事業の概要	<p>オリジナルで作成した「幸せノート」を活用し、セカンドライフを計画するために必要な知識（葬儀・相続・遺言等）について、地域で気軽に学ぶことのできる講座を開催することで、これまでの生き方を振り返り、これからの人生をよりよく生きるためのライフプランについて考えるきっかけを作る。</p> <p>対象者：市内に居住または通勤する方 開催回数：市内8か所で1回ずつ実施（年8回） 定員：各30名（応募多数の場合は抽選）</p>	
委員会意見	<p>平成28年度は、市民がより気軽に参加できるよう、各地域の高齢者支援センターを活用し、地域のニーズに合わせて講座の内容を考えていくなど、地域的なアプローチから、提案団体と市担当課がお互いの役割分担を定め、協働のメリットを生かすものになっている。</p> <p>1回完結型の講座を90分という時間で実施することについては、葬儀や相続に関する事など、一人ひとり状況が異なり、十分に記入できない箇所や分からない点も出てくると考えられるので、相談窓口などにつなげるなど、講座実施後のフォローアップも行っていたきたい。</p>	

提案事業名	渡里湧水群の保全と活用	推薦する (243点)
提案団体 渡里湧水群を活かす会	市の担当課 環境課・公園緑地課	
事業の概要	<p>地域住民を中心に関係機関・団体が一体となって、長者山風致地区北側崖下の湧水箇所、旧水路、あぜ道(認定外道路)、旧国道敷及び田野川の環境を整備する。さらに、多くの人々の憩いの場となるような湧水群と田野川を含めた水辺環境を構築し、台地上の歴史的遺産(台渡里官衙遺跡群等)と一体化して、歴史と自然が融合した地域づくりを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保全活動の推進</li> <li>2. 水辺環境の整備</li> <li>3. 動植物の生息環境の整備</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、多くの地域住民の意思を受け、団体、複数の市担当課が関わり、組織的な役割分担のもとで一緒に事業を進めていく体制が構築されており、協働事業の形態として高く評価する。また、湧水を災害時の生活用水として役立てることや歴史的遺産と一体化する計画があるなど、長期的な事業の展望も見受けられる。</p> <p>自然環境の整備は長い年月がかかるものなので、一過性の事業ではなく、長期的に継続していけるよう、今後も様々な主体と連携・協力しながら、大学生等の若い世代の参加など、次世代への継承も意識し、事業を進めていただきたい。</p> <p>将来的に、渡里湧水群が多くの市民の憩いの場となることを期待している。</p>	

提案事業名	21世紀の「生きる力」 ICT活用向上プロジェクト	推薦しない (175点)
提案団体	認定特定非営利活動法人 水戸こどもの劇場	市の担当課 総合教育研究所
事業の概要	<p>一般の家庭の子どもたちを対象に、ビジュアルプログラミングツール「ビスケット」を活用したプログラミングワークショップを通して、コンピュータの性質や可能性への理解を促し、今後の情報化社会を生きていくために必要なICT活用力の基礎である「創造力」「表現力」を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ファシリテーターの養成講座の実施</li> <li>2. 子どもを対象としたワークショップの実施（全6回）</li> <li>3. ワークショップレポートの公表</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、プログラミングを用いた教育方法として斬新な試みで、先見性・独創性については評価する。</p> <p>しかし、子どもの「創造力」「表現力」を養う方法として、ビジュアルプログラミングツール「ビスケット」を用いることが有効なのかやや疑問に感じられる。プログラミングを学ぶ意義や、「ビスケット」の有用性について明確に示していただきたい。</p> <p>また、水戸市と協働で進めていく事業としては、協働による効果や役割分担が不明確であり、前回からの改善点が明確に示されなかった。</p> <p>今後は、情報リテラシーを学ぶ機会も取り入れた上で、プログラミングに対する正しい理解を深められるような内容にしていきたい。</p>	

提案事業名	谷中二十三夜尊骨董市賑わい創出事業	推薦する (194点)
提案団体 株式会社	日宣メディックス	市の担当課 観光課
事業の概要	<p>愛宕町から八幡町周辺の歴史的遺産や緑地・湧水を湛える地域は、「ロマンチックゾーン」として、観光エリア及び市民の憩いの場になっている中で、アジサイが咲き乱れる保和苑を中心に、幕末・明治にかけての歴史に関わる回天神社、常磐共有墓地、桂岸寺等の周辺の史跡・名所とも連携し、骨董市を開催することで、地域の賑わい創出につなげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 骨董市の開催</li> <li>2. 歴史アドバイザー水戸の案内による園内散策</li> <li>3. 園内ステージを使用したライブショー</li> <li>4. 「地産地消」を考慮した飲食ブースの設置</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、骨董市の開催をきっかけにして、谷中二十三夜尊の賑わいにつなげようという試みで、歴史的遺産を観光資源に活用していくという市担当課の考えとも一致しており、地域の活性化につながる1つのきっかけとなることが期待できる。</p> <p>前回の提案で指摘した、駐車場の問題や地域との関わりについては、改善が認められる。</p> <p>骨董市については、出店者として、できるだけ地元の人に関われるよう呼びかけをし、空き店舗の活用も検討していただきたい。</p> <p>今後は、さらに地域との連携を深めるため、イベントの運営組織として実行委員会などを立ち上げ、商店会や地域住民との意思疎通を図りながら事業を進め、持続可能な賑わいの創出につなげていただきたい。</p>	

提案事業名	水戸オーガニ蕎麦プロジェクト ～蕎麦作りの全行程を都市の人々と地域住民で楽しむ～	推薦しない (191点)
提案団体	一般社団法人 茨城県健康生きがいつくり協議会	市の担当課 農政課
事業の概要	<p>水戸市内の遊休農地で、蕎麦の種蒔きから蕎麦打ちまでを体験することを通じて、地域の人々、福島からの避難者、都会の人々など、様々な人が交流することにより、豊かなライフスタイルを築き、多世代で共有する地域社会を確立する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 蕎麦作り 畑耕起～有機質肥料仕込み～種蒔き～刈取り、収穫祭</li> <li>2. 蕎麦ちょこ作り</li> <li>3. 蕎麦打ち体験講座</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、水戸市内の遊休農地を有効活用し、蕎麦作りを通して多世代で共有する地域社会の実現を目指す興味深い試みで、先見性や独創性については高く評価する。また、都会の人々を呼び込み、水戸市のリピーターとして定着させることや、福島からの避難者の支援など、様々な取組みを計画されている。</p> <p>しかし、対象家族の数が少なく、内々のイベントで終わってしまうことも考えられ、本当に事業の効果はあるのか、やや疑問に感じる点があった。</p> <p>各地域及び一般の人からもより多くの人々が参加し、多世代で交流ができる場を提供できるよう、多様な参加形態を検討していただきたい。</p>	

提案事業名	スマイルアースプロジェクト ～外国人も日本人も住みやすい地域をつくる～	推薦する (193点)
提案団体	グローバラキグループと支える会	市の担当課 文化交流課
事業の概要	<p>外国人市民が、水戸市の様々な地域、場所、分野において、活動の幅を広げている中で、水戸市民を中心とした日本人市民と笑顔でふれあい、季節行事、衣・食・住、芸術文化などの様々な視点で日本と外国の違いを理解し、共生に向けた考え方を育むことで、外国人が自立した生活ができ、それぞれの文化や考え方を生かした住みやすい地域社会をつくる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 異文化理解・交流イベント</li> <li>2. 広報紙の発行</li> </ol>	
委員会意見	<p>本事業は、外国人と日本人がお互いに理解を深めることで、住みやすい地域社会を作ることを目的としており、外国人が企画運営の主体となって進めているため、外国人のニーズにあった事業展開が期待できる。</p> <p>事業への参加者については、メンバーが固定され、内々のイベントで終わってしまうことも考えられるので、今まで異文化理解や国際交流について関心の無かった人たちにも参加してもらえるよう、市担当課と連携・協力し、市で実施している様々なイベントにも参加して活動を周知するなど、理解が広がるよう取組んでいただきたい。</p> <p>将来的には、インバウンド観光や交流人口の増加に繋がる展望もあるということで、この事業をきっかけに、水戸市が「外国人にやさしいまち」というイメージが広がることを期待している。</p>	

## 選考過程・基準

### 【選考過程】

協働事業提案書をもとに、2月24日に実施された公開プレゼンテーションにおいて、事業の概要や協働による効果、役割分担、収支計画などについて、提案団体から説明を受けた。また、提案団体及び市の担当課に対して、委員による質疑応答を行った。

その後、全体での審査において、全委員の総合得点をもとに、各提案事業について、公共性や協働の必要性などの面から、協働事業として実施すべきか否かについて審査した。また、効率性や役割分担など、事業に取り組むに当たって、提案団体と市の担当課がさらに協議を深めるべき事項について意見した。

### 【選考基準】

提案書類と公開プレゼンテーションをもとに、8つの審査項目に沿って採点した。各委員の持ち点を40点とし、全委員の採点を合計した総合得点を審査の基礎とした。

また、今回の審査では、提案団体のスキルアップと、より質の高い事業提案を促進するため、総合得点の6割にあたる192点を推薦に値するかどうかの基準として設定した。

なお、提案団体の家族、親族、関係者である委員は、公平性の観点から当該提案事業の審査は行わず、他の7名（8名出席のため）の委員による採点の平均点を加算して、得点を調整することとした。

#### 審査項目及び審査の視点（40点満点）

審査項目	審査の視点	配点
先見性・独創性	新たな着想や創意工夫があるか	5
事業の公共性	不特定多数の利益，社会全体の利益につながるか	5
ニーズの理解	社会的課題や市民ニーズをとらえているか	5
協働の必要度	協働による相乗効果が期待できるか	5
事業の将来性	成果の活用や波及効果など将来展望が明確か	5
手段の効率性	労力や経費などの見積りが適切か	5
役割分担	自立性を尊重し，お互いの長所を生かしているか	5
実現可能性	自己資金の確保や企画内容が実現可能か	5

## 水戸市協働推進委員会委員名簿

氏名	所属等	組織区分	備考
委員長 金本 節子	茨城大学 名誉教授	学識経験者	
副委員長 水嶋 陽子	常磐大学 人間科学部准教授		欠席
大野 覚	認定NPO法人茨城NPOセンター・ コモンズ事務局長	NPO代表	
平沼 賢治	水戸市ボランティア連絡協議会 会長	ボランティア代表	
金成 滋	水戸市住みよいまちづくり推進協議会 常任理事	コミュニティ代表	
鹿倉よし江	水戸女性会議 会長	女性団体代表	
石川 浩之	水戸商工会議所 振興部長	関係団体	欠席
高橋 隆慎	公益社団法人 水戸青年会議所 理事長		
青木 千鶴子		公募市民	
斎藤 寿子			

### 【任期】

平成27年2月25日から平成29年2月24日まで（2年間）

### 【参考資料】水戸市協働推進委員会抜粋

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。